

香川大学教育学部附属坂出中学校で 支援活動② を実施しました

7月11日、教育創造コースの2年生が、香川大学教育学部附属坂出中学校において、総合学習CAN(Cluster, Action Learning, Narrative Approach)のなかで「支援活動」を行いました。

中学生の各「クラスター」の活動内容は5月の訪問時よりかなり深化しており、実験やインタビューをするために教室外で活動しているクラスターも多くありました。中学校の教頭先生からは、「答えを教えるのではなく問いかけてほしい」「どうやったら見えていない課題に気づくか考えてほしい」との言葉を頂き、教育創造コース生は各クラスターの探究の内容を聞き取り、疑問に思ったことを質問したり、アドバイスをしたりしました。

【問いかけの例】

「この探究はどうなったらいいの？」…理想のゴールを明確にする。

「(困っていたら：素朴な疑問から)なぜ、これをしたいの？」…研究の繋がりを意識させる。

「どうなっていたら〇〇だと言えるの？」…定義をはっきりさせる。



前回支援活動に入らせていただいた時に比べ、どのクラスターも研究が進んでいたようです。コース生にとっては、それをさらに深めるような良いアドバイスをすることは、なかなか難しかったようですが、大変面白く貴重な経験でした。附属坂出中学校の皆さん、本当にありがとうございました！